



特定非営利活動法人 なんとなくのひろば 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail [info@nantonakuno.net](mailto:info@nantonakuno.net)

## 不登校 引きこもり 未来

7月11日の講演会、当事者からのメッセージは、たしかに参加者に伝えられました。講演会を企画し、後半の音楽ライブも担当した、沼尾理事のレポートです。

学校でのいじめの体験談や親とのやりとりをまじえた須永さんの講演は、とても説得力がありました。また、話し方も上手で、笑いをとる場面もありました。個人的に印象に残ったのは、「本当に親は子どものためを思って、学校に行けと言ってるのか」ということです。須永さんのように、学校ではうまくいかなかったけど、東京シューレ(フリースクール)ではうまくいくという人もいます。学校に通うということだけが、いい人生を歩めるということにつながるわけではないと思いました。

不登校の数12万人、引きこもりの数160万人。この数字は、ただの数字ではなく、その人たちの命がかかっているということ。なのに、その人たちをただ弱いものとして笑う人たち、そして、そのままにしている人たちがいるってことがなんだか悲しい現実だなと思いました。もっと色々な生き方について考えなければいけないと強く思います。自



須永祐慈(すながゆうじ)さんの講演

分に起きてみないとその苦しみはわからない。けれど、当事者の話を聞けば、どんなにつらいものかがわかります。

後半は、僕の音楽ライブ。須永さんの講演と僕自身の経験や考えかたに共通するところがあって、僕もなんだか気合がはいってきました。「不登校・引きこもり」をテーマに、自分の喜び、苦しみ、怒り、悲しみをもっともっと表現し、世界にいままでにないインパクトを与えたいと思いました。僕は、漫画もやり、三味線もやり、歌もうたい、自分の感情すべてを表現して、しかも、世界最先端の誰もやってないアートとしたかったのです。

漫画と三味線のコラボ「しゃみまんが」。写真(左下)をみてわかるとおり、漫画をスクリーンにうつしながら、それにあわせて、弾き語り+ドラムと三味線+ドラム、デュオを披露していきました。漫画は、不登校・引きこもりをテーマに、いじめなどで自信のもてなくなった主人公が、引きこもり、苦しみ、そこから、自分の強さ、家族の優しさによって、外の世界に旅立っていくというストーリーです。

ステージはものすごく暑く、汗だくでした。それでも、なかなかよいライブができたのではないかと思います。このような講演会+ライブをさせていただき、感謝しています。素晴らしい講演をしてくれた須永さん、当日ご来場していただいたみなさん、準備を手伝い、いっしょに演奏してくれたじょうさん、スタッフのみなさん、ほんとうにありがとうございました！

(沼尾)



### 目次

不登校・引きこもり・未来	1
アンケート	2
子育て・親育ち勉強会・5	2
活動日誌	3
サイエンス・カフェ 22	3
こんな本はいかが? (9)	4

### 居場所のひとつ

報徳会館の庭では、6月に植えたカボチャが雑草の中で元気に育っています。つるをぐんぐん伸ばし、大きな葉を威嚇するように上に広げ、他の植物を覆っていく様子は、生きる力を感じさせます。その葉の下に、まだ小さい実が隠れていました。収穫まで、カラスさんに見つかりませんように。(T)



## 2 なんとなくのひろば

### 不登校・ひきこもり・未来 アンケートより

■当事者です。須永さんの講演や、沼尾くんの演奏も大変有意義な時間でした。「ひきこもり」を悪だと自分自身思い込んで、自己嫌悪ばかりしていましたが、お二人の講演、演奏をきいて、少し、開き直れそうな気がしました■本人の気持ちがよく分かりました。親として反省することがありました。ありがとうございました■子どもといっしょにこのような場所に出られたらな。親の会に出ていますが、いつかは、きっと希望をもって、生きていこうと新たに自分にいきかせることができました■子どもがなにも話してくれないため、どんなことを考えているのかわからず、とても不安でした。時間だけが過ぎていき、これから、どうになってしまうのか、このままいつまで続くのか不安でした。須永さんの話をきき、沼尾さんの曲を聴き、少し気持ちが楽になった気がしました。またこういう機会をつくってください■子どもの気持ち、親の気持ち、最近まで実感していたことでした。現在もかな？わかりやすかったです■学校がすべてではなく、自分らしく自分の人生を歩んでいくことの大切さや、不登校やひきこもりは、学校ざらい勉強ざらいなどではなく、自分自身を見つめなおす時間を、その人に与えてくれたのではと、考えさせられました■須永さんの講演、わかりやすく、率直な思いを語られていました。いいお話がきけました。沼尾くんの演奏、とても素晴らしかったです■須永さんの「自立」より「仲間とのつながり」という言

葉が千葉県にあるNPO代表の方にも同様の発言があり、印象的でした。あとは具体的にどうつながっていくか、その場所を親がどう提供するかが肝要ではないかと思います■家族で心配なやみ続けていましたが、本人はそれ以上苦しみ、悩み続けていると思うとかわいそうでなりません。もっともっと勉強しなければと思います■とても良い話を聞きました。いろんな面で、今の社会に通じることだと思います。普通に学校にいった子も、いろんな心配事があったと思います。ちょっとしたきっかけで、不登校になるんだとつくづく思いました■15年前、私の息子も不登校になり、3年半、学校を休みました。須永さんの話を聞いていると、その時のことを思い出しました。感情的なことはまったく同じです。今、その息子も、結婚して自分の人生を生きています。親も、子どもの不登校により、価値観、考え方、変えることになりました■とてもいい内容で、久しぶりに、色々なことを考えられた気がします。どうもありがとうございました■須永さんの講演、時々、どきどきしながら聞きました。「どうして」をたずねられたとき、ますます追い詰められる体験しました■いろいろなお話をしていただき、ありがとうございました。たしかに「目からウロコ」状態でした■沼尾くんのライブ、一度聞きたいと思っていましたが、とても感動しました。これからもがんばってください■不登校、ひきこもりの経験を持つ当事者からのメッセージということの重さを感じながらも、おふたりとも堂々と自分の思いを表現していることに深い感動を覚えました。

以上、アンケートに書かれた参加者の声です。紙面の都合で一部、省略があることをお許しください。(まとめ:沼尾)

## 子育て・親育ち勉強会（第5弾）

講師：山崎育さん（日光市こども発達支援センター） 7月26日（日） 日光市中央公民館小ホール

日光市こども発達支援センターの山崎育さんを講師に迎え、前半は「子育て」をテーマに子どもの行動タイプとその強さ弱さ、年代別発達課題、ソーシャルスキル、障がいとは、などについて話をいただきました。後半は参加者からの「質問カード」に山崎さんが答える形で、「うちの子の場合」など具体的な質問に対して子どもの立場に立った助言がありました。今回は初めての参加者が多く、勉強会の必要性を感じさせる会でした。(N)

アンケートをお願いし、10名の方から回答をいただきました。

**印象に残った点や感想など** ▼ほめることが大切だと痛感しました▼自信をもつことは大切だと思いました▼障がいがある・ないに関係なく、性格的なこと・育て方のことなどを相談したいと思って来ました▼特徴としての言葉での表現(自分こそが正義、自己中心的、頑固、場の空気が読めない、応用が利かない、しゃくし定規な行動をとる)がとても捉えやすくよかった▼極端な行動に出してしまう、歯止めの利かない子に、よい、悪いを理解させるには、どのような言葉かけ、対応をしたらよいのか、どうすれば繰り返さずに身につけさせられるのか、聞きたかった。最後の相談会では、とても学べることばかりだった。とてもよい場だと思った▼子どもに問題があるのではなく、自分に直せるところがあるように感じた。なるべく子どもの感情を受け入れてやろうと思う▼親の対応で少しでも子どもの成長が大きく変わった行動ができた、改めてほめたり、勇気づけてあげたり、私自身を見直さなきゃなあと改めて考えた▼意外に参加している人が少ないので残念でした▼「ほめかたのコツ」が聞けてよかった。謙遜との兼ね合いとかを考える前に、とにかく誉めようと改めて思った▼「ほめる、認める、自信をつけさせる」ことなら、今日からできそうです。子どもが自信をもって輪の中に入っていけるようにサポートしたいと思う

**今後、勉強会でどのような話を聞きたいか** ▼「学習」とか「勉強」に対しての困難に家庭ではどう対処するか▼LDやADHDで頑張っている人の話など聞きたい▼自分だけ悩んでいて解決できなくなってしまう。同じような状況にいる人の話が聞きたい▼状況適応能力の弱い子に対しての対応の仕方・行事などで集団に入れない場合、個別にした方がよいのかどうか？その判断基準は？どれくらいのパニックでそうしたらよいのか？個人にもよるが、目標としてどのようなことを立てていけばよいのか？多動ならば、机に座っている、集中力をつけるなど・トレーニングとしてはどのようなものがよいのか？▼親として人間的に成長したいと思う。たくさんヒントがほしいので様々な視点からの専門的な話が聞きたい▼思春期について知りたい

# ☆ 活動日誌

- 6月3日(水) 通信16号発行
- 6月6日(土) むかし話玉手箱(第4回)
- 6月8日(月) 子育て・親育ちの茶話会
- 6月22日(月) 発達障がい支援者連絡会(第39回)
- 6月27日(土) ワカモノフェスタ実行委員会
- 6月28日(日) ベリー会
- 7月2日(木) 子育て支援課(吉澤さん) 打合せ
- 7月8日(水) 地域県政懇談会・日光市役所
- 7月11日(土) 不登校・ひきこもり・未来
- 7月13日(月) 子育て・親育ちの茶話会
- 7月18日(土) サイエンスカフェ22「イモリのふしぎをさぐる」
- 7月19日(日) JC「元気up ナチュラルプロジェクト」
- 7月19日(日) ベリー会(吉成)
- 7月26日(日) 子育て親育ち勉強会(第5回)
- 7月27日(月) 発達障がい支援者連絡会(第40回)
- 8月1日～4日 あさやサイエンスパーク サポート
- 8月10日(月) 子育て・親育ちの茶話会



上・右：むかし話玉手箱(報徳今市振興会館)  
下：JC・ナチュラルプロジェクト  
花や葉から絵の具を作り、絵を描くコーナーを担当。他に、木工、植物貼り絵など多彩なブースが  
だいや川公園に展開。

第4回  
**むかしばなし玉手箱**  
平成21.6.6(A)  
報徳今市振興会館にて  
1:30

1. そうめん地蔵(明和の伝説)
2. っ自.2っ自.3っ自(ひんねん話)
3. みんなで歌いましょう
4. 食わずにようぼう(おとせ話)
5. キツネのこもりうた(金持昔話)

講師：丸岡・大門



## 発達障がい支援者連絡会

発達障がいを持つ子の親、学校関係者、市民団体等が自由に意見交換を行い、今できることに取り組んでいく集まりです。毎月第4月曜日、午後7時から、日光市民活動支援センターで開いています。どなたでも参加自由の会です。気軽にご参加ください。  
(担当:西尾・白井) 連絡:090-3227-7079

## 子育て・親育ちの茶話会

場所:今市報徳振興会館  
日時:毎月第2月曜日(午前10時～お昼)  
参加費:300円(お茶代)  
次回は9月14日(月)です。  
同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合しましょう。  
「一人で悩まず、みんなで!」を合い言葉に

## 美術造形教室

昨年好評だった造形教室を3回連続で開催。  
10月3日(土)、12月5日(土)、2010年2月  
午後3時から5時まで  
会場は日光市民活動支援センターを予定しています。費用等は未定です。興味のある方、お問い合わせください。



## サイエンス・カフェ22 イモリのふしぎをさぐる

講師:林光武さん(栃木県立博物館)  
7月18日(土)  
日光市民活動支援センター

林さんはイモリを調べるために本州、四国、九州のすべての県を踏破したという研究者。両生類の間である「イモリ」の住む場所、食べ物、繁殖行動などについて、興味深いお話がありました。以下、私が印象に残ったことを箇条書きに。(1)イモリの寿命は意外に長く、野生でも10年以上は生きる。飼育下で25年以上という記録もある。(2)幼生は水中から陸に上がり、林の中で成長し、2～4年かかって成体になるが、どんなところで、何を食べて生きているかわかっていない。(3)ふぐと同じ、テトロドトキシンという毒素を体を持つ。どんな生き物を食べて毒素を蓄積するかはなぞ。(4)気温が下がるとあまり動かずに春を待つ。その間、どこでどうしているのかも、よくわかっていない。(5)イモリは地域によって、体の大きさや形状、恋の行動などが違うので捕まえたイモリを別の所に放すなどは禁物。林のそばの田んぼの中にいる身近な生き物なのに、わからないことがいっぱいあるんだなあと思いました。生きたイモリの幼生や成体も観察することができ、子どもたち、また遠方から見た大人たちにも、興味深く、楽しい会になりました。  
(T)

(下写真:解散後、参加した小学生の一人が、ペットボトルで作ったイモリを見せてくれました)



## 次回のサイエンス・カフェ23「お寺で宇宙談義・2」

猪倉のお寺、泉福寺に田原博人さん(宇宙物理学、元宇都宮大学学長)をお迎えして、住職の長谷川興賢さんと宇宙論をテーマに問答を行います。

2009年8月29日(土) 午後7時30分～午後9時 猪倉山泉福寺 電話:0288-26-1364  
参加申し込みは、お名前、連絡先をファックスまたはメールで FAX:0288-21-2631

サイエンス・カフェ24「秋の蝶(予定)」 9月19日(土) 午後2時、会場未定

特定非営利活動法人 なんとなくのになわ 通信

〒 321-1261 日光市今市 378  
電話 090-3227-7079 / Fax 0288-21-2631  
E-mail: info@nantonakuno.net  
ホームページもご覧ください  
<http://www.nantonakuno.net/>



ここにここにっこう！ 日光市子育て支援 HP  
<http://www.nantonakuno.net/kosodate/>

## こんな本はいかが？ その9 こどもの絵本あれこれ2

子どもが保育所に通っていた頃、私自身が勇気と力をもらった本を紹介します。

「ばばばあちゃんのおはなし」シリーズ  
さとう わきこ さく・え 福音館書店

### ① 「どろんこおそうじ」

ちらかしやのこいぬとこねこ。ばばばあちゃんに注意をされてそうじを始めたけれど・・・！！

### ② 「いそがしいよる」

ばばばあちゃんがきれいな星空をながめたくて、ゆりいすを外に持ち出してみると・・・！！

### ③ 「あめふり」

ずっとずっとふり続く雨。ばばばあちゃんが空に向かってやったことは・・・？

### ④ 「たいへんなひるね」

4月になって外でひるねをしたいばばばあちゃん。ところが雪が降ってきた！ そこでばばばあちゃんが考えたこととは・・・！！

### ⑤ 「そりあそび」

外はつめたい雪。動物たちに寒い日の特別なあったまり方を教えたよ。それはね・・・！！

ばばばあちゃんの毎日の生活の楽しみ方が、私は好きです。つまらないことだって嫌なことだって、考え方一つで楽しいことに変わります。このシリーズはこの他にも何冊かでているようです。図書館などで捜して、是非とも一度手にとってみてください。 (白井)

## 私たちの活動目的：

日光市およびその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して学習や自立の支援活動を行い、地域の人が支える新たな学びの場を作り出すことを目的とします。

## 私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、子どもたちに自然環境保全の大切さを啓発する活動

## 会員について

正会員：45

賛助会員：17

団体会員：3

入会金はありません。

年会費(一口)：正会員3,000円

賛助会員 個人5,000円、団体10,000円

「なんとなく」活動の約3割は会費でまかなわれています。会員の継続をよろしくお願ひします。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。皆様の積極的な参加をお願いします。



## なんとなくのへや

インターネットの世界は、最新技術で動いています。通信技術や検索システムの改良によって、コンピュータネットワークが普段の生活に入り込み、とくべつな訓練なしに使える道具に進化しました●インターネット「ホームページ」の発展は20年前、スイス・ジュネーブにある素粒子研究所のある物理学者の提案から始まりました。その提案書に、組織のボスは“Vague, but exiting...”(よくわからんが、すごいかもしれない...)とメモしたそうです。それが今、私たちの生活を変えてしまうほどの勢いで広がっています●どんな仕組みになっても、中身を考えるのは相変わらず人間です。コンピュータが勝手に考えてホームページを作ることはありません。人が新しいアイデアを考え、創造し、新しい知識や技術が伝えられ共有されていくという流れは、昔も今も変わってはいないのではないでしょうか●日光市・子育て情報ホームページを担当し、試行錯誤のまま1年が過ぎました。まだまだ未熟なページです。みなさまの協力でよりよいものにしていきたいと思います。メルマガへの登録、ページへのご意見など、遠慮なくお知らせください。

(アドレスはこのページの上にあります。T)